

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	サステナブルビルディング普及検証小委員会	主 査 名：大岡龍三 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：吉野 博 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	サステナブルビルディングの概念が提唱されたが、必ずしも健全な普及がなされているとはいえない。そこで、社会への普及状況を検証し、一層の普及を図る方策を検討する。 ・ サステナブルビルディングの普及状況の調査 ・ 普及に関する阻害要因の抽出 ・ 更なる普及のための効果的方策の探査 ・ 上記を取りまとめ活動報告書を作成 (2008 年度)	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 必要に応じて適宜 大岡龍三 (主査:東京大学)、武政祐一 (幹事:鹿島建設)、小檜山雅之 (幹事:慶應義塾大学)、今井康博 (大林組)、角陸順香 (首都大学東京)、田村雅紀 (首都大学東京)、平野智子 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、丸野道明 (鹿島建設)、三井所清史 (岩村アトリエ)、山本明 (東京都)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、伊藤雅人 (住友信託銀行)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無：公開予定 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	・ サステナブルビルディングの普及状況について次の調査を実施。 国・自治体の取り組み、防災関連制度、環境共生住宅、国際動向、受賞・認定制度、エネルギー消費量、サステナブルビルディング各種技術、評価尺度、ステークホルダーの対応、社会システムなど ・ 上記調査結果をまとめ活動報告書を作成 (予定)。
委員会活動の問題点・課題	小委員会活動報告書の完成と対外的な情報発信方法の検討。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。